

25年度

1級造園施工管理技術検定

実地試験・解答試案

■ 以下に記載する解答は、本試験実施団体による解答ではありません。受験者の参考に資するするための当社の試案によるものです。

当社講師 福成敬三 2013/12/10

訂正 2014/03/03

【問題 1】 経験記述につき解答省略

【問題 2】

- (1) ・建設機械のトラフィカビリティ
・現場の地下埋設物等の有無、位置の確認
・機械、資材搬入に係わる現場周辺道路の幅員、交通規制、交通量等
・機械、資材搬入および施工に伴う騒音、振動、粉塵等の周辺への影響予測
- (2)
 - (イ) ・植栽予定地全体を中高に表面勾配を付ける。
・暗渠排水管を敷設後フィルター材で埋め戻し、末端を既設排水管に接続する。
 - (ロ) ・重機で過転圧したり、こね返したりしないように留意する。
- (3)
 - (イ) 移植に際して水分や栄養摂取に必要な細根の大部分を切除することになるため、移植後の十分な活着や生育を困難にしないよう、現在の生育地で、掘り取り時の鉢を作る部分近くの根を切断して、あらかじめ切断部位から細根の発生を促す。
 - (ロ) 養分流通に関わる師部を取り去るため、形成層まできれいに剥き取る。
 - (ハ) 追掘
- (4)
 - (イ) 問題点：工期が秋口から早春にかけての寒冷期であり、温暖な気候に生育する常緑樹にとっては寒害を受けやすいため植栽適期ではない。
対 策：防寒のため、樹冠を寒冷紗で覆い、ロープで巻いて留める。
 - (ロ) (A) 掘り取り時の根の切り口からの木材腐朽菌の侵入を防いで発根の障害を除くため
(B) 太根の切り口を鋭利な刃物で切り直す

(A) 灌水した水が根鉢周辺に効果的に行きわたるようにするため

(B) 水鉢を設ける

(ハ) 樹幹の結束部はゆるみがないように幹当てを取り付ける。

・指定の本数のワイヤーロープを効果的な方向と角度(45～60度)にとり、アンカーなどに結束する。

・ターンバックル等でワイヤーロープにゆるみがないように張る。

(5) 張芝後ほぼ1週間の時期に目土の薄いところに目土を加えて均一を保つ。

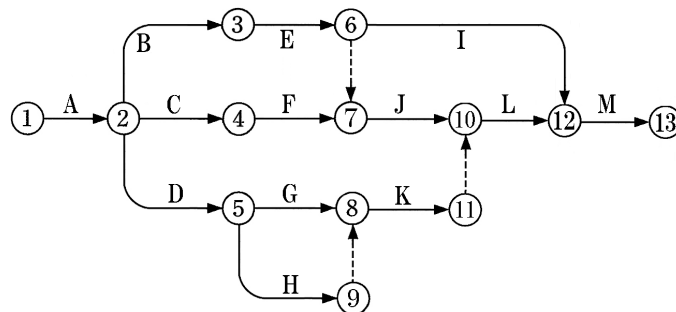
・枯死した部分を取り除き、補植する。

・雑草が生えた場合は、原則として手抜き除草を行う。

【問題3】

(1)

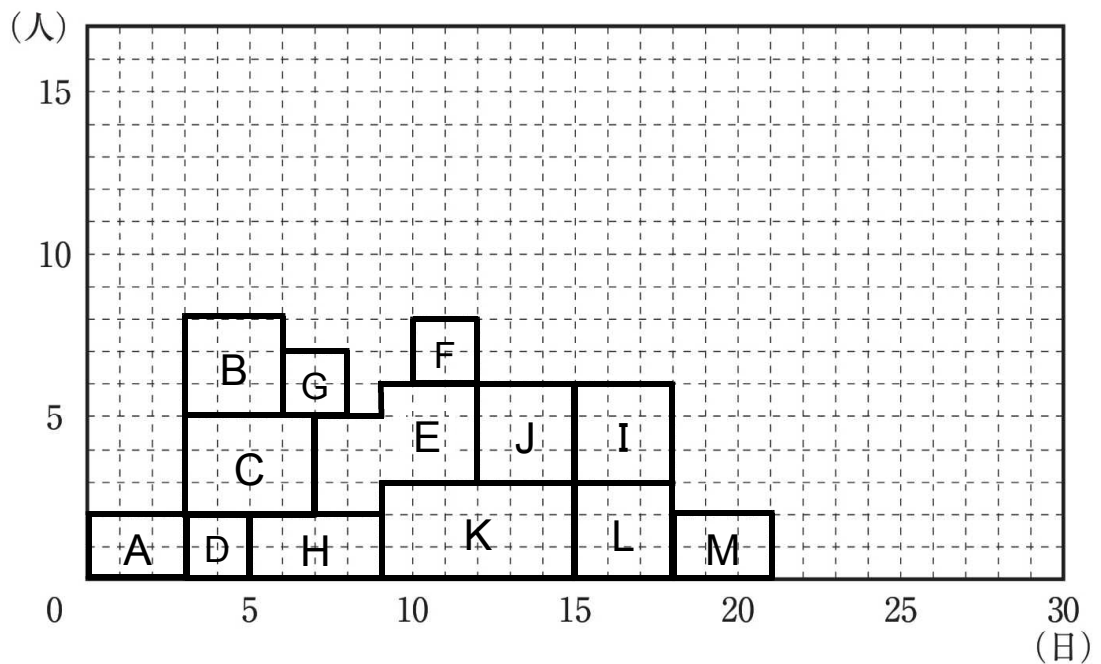
(イ)



(ロ) A → D → H → K → L → M

(ハ) 10日

(ニ) 1)



2) 8人

(ホ)23日

(ヘ)4日

(ト)EとJとDを1日ずつ

EとJとHを1日ずつ

EとJとKを1日ずつ

Jを2日とDを1日

Jを2日とHを1日

Jを2日とKを1日

(2)・作業の段取り待ち

・材料入荷の遅れ

・建設機械の故障

・工事の手直しによる手戻り

【問題4】

(1)

(イ)ウ、オ、カ

(ロ)

1)生育、根、根鉢、葉、樹皮、枝、病虫害

2) 葉 : 正常な葉形、葉色を保ち、萎縮、徒長、蒸れがなく、生き生きとしていること。全体
に、均一に密生し、一定の高さに刈込んであること。

ほふく茎 : ほふく茎が、生きある状態で密生していること。

根 : 根が、平均にみずみずしく張っており、乾燥したり、土くずれのないもの。

病虫害 : 病害(病斑)がなく、害虫がないこと。

雑草等 : 石が混じったり、雑草、異品種等が混入していないこと。また、根際に刈りカスや枯
れ葉が堆積していないこと。

3)花芽の着花が良好か、もしくは花及びつぼみが植物種の特性に応じた正常な形態や花色であるこ
と。

(2)

(イ)貝尻

(ロ)・運搬に際して根鉢が崩れるのを防ぐ。

・根系の乾燥を防ぐ。

・細根を保護する。

(ハ)A : 樽巻き

B : 揚巻き

(3)ウ

【問題 5】

(1) ・誘導員を配置してトラックを先導する。

・走行スピードを制限し、徐行を敢行させる。

(2)

(イ) A : イ B : チ C : リ

(ロ) ・荷の吊り上げ時には、地上からわずかに浮かせた状態で一時停止し、重心の位置、玉掛けの状態を確認すること。

・荷を吊ったまま運転席を離れないこと。

(ハ) ・地盤の状態を確認すること。地盤の支持力が不足する場合は、移動式クレーンが転倒しないよう地盤の改良、鉄板等により補強すること。

・移動式クレーンの機体は水平に設置し、アウトリガーは作業荷重に応じて最大限に張り出すこと。

(3)

(イ) A : 85 B : 手すり C : 中さん

(ロ) ・組立ての時期、範囲及び順序を当該作業に従事する労働者に周知させること。

・強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。

・足場材の緊結、受渡し等の作業にあつては、幅二十センチメートル以上の足場板を設け、労働者に安全帯を使用させる等労働者の墜落による危険を防止するための措置を講ずること。

・材料、器具、工具等を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させること。

(ハ) ・材料の欠点の有無を点検し、不良品を取り除くこと。

・器具、工具、安全帯等及び保護帽の機能を点検し、不良品を取り除くこと。

・作業の方法及び労働者の配置を決定し、作業の進行状況を監視すること。

・安全帯等及び保護帽の使用状況を監視すること。

解答試案に対する質問・ご指摘は下記宛てにお願い致します

TGK (株) 東北技術検定研修協会

本 社 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26ネオハイツ勾当台2F

問い合わせ E-mail : info@touhokugiken.com

TEL 022(738)9312 FAX 022(738)9365

お振込の場合は右記まで 七十七銀行 本店 (管) 0213691 (株) 東北技術検定研修協会 (本社住所) 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26-2F